

水産物の産地水揚量・卸売価格、輸出入  
及び家計消費の月別動向について(月報)  
(平成21年11月)

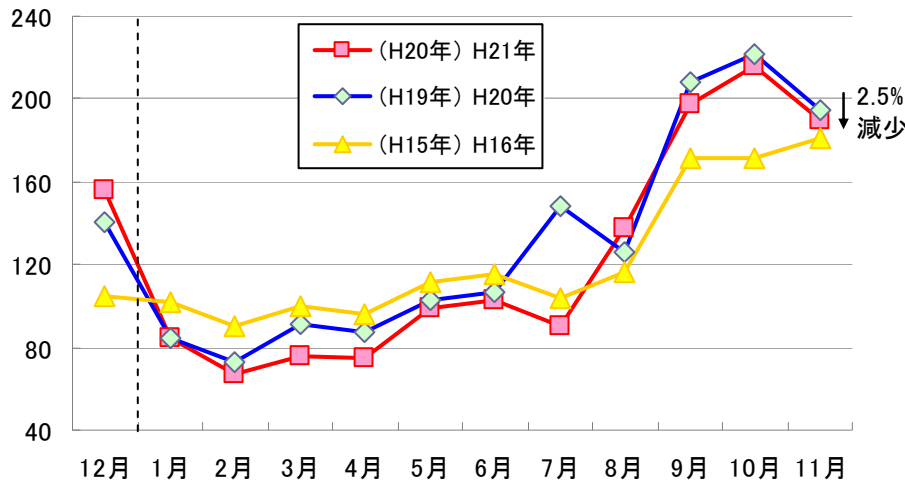
平成22年2月  
水産庁漁政部企画課

# 1 産地水揚量の動向

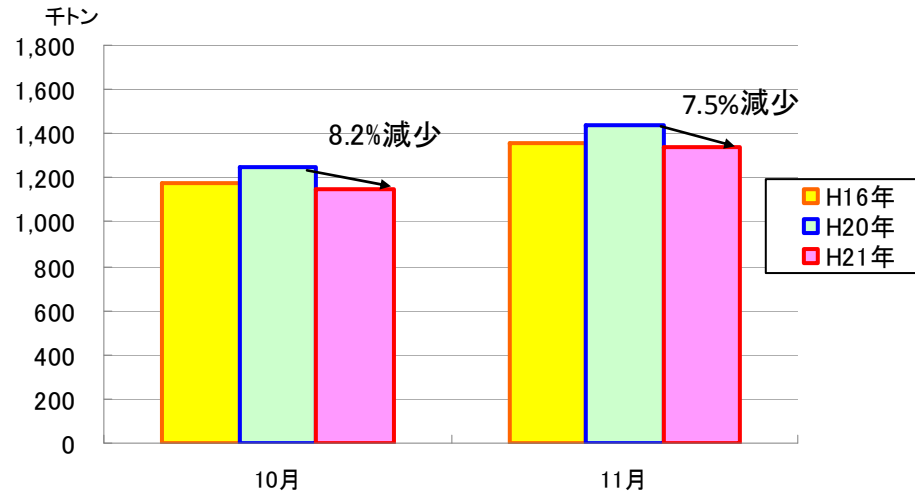
○平成21年11月の水産物産地水揚量は189千トで、前年同月と比べ2.5%減少した。冷凍かつおは、巻網漁業が好調で、焼津、枕崎等での水揚がまとまり38.4%増加した。生鮮するめいかは、羅臼では伸び悩んだものの三陸が好調で55.0%増加となった。まいわしについては、季節外れの来遊(銚子沖)により前年同月比7,634.0%の大幅な増加となった。前年同月が豊漁であったさば類では、まとまりを見せたものの21.7%の大幅な減少となった。また、さんまについては中小型が主力となり、前年同月比9.6%減少となった。

○平成21年の水産物の累計産地水揚量は11月までで1,335千トで、前年同期と比べ7.5%減少した。これは、累月ベースで、生鮮するめいか(52.0%増)、まいわし(133.0%増)、生鮮びんなが(26.0%増)等で水揚量が増加した以上に、さば類(16.0%減)、生鮮かつお(43.0%減)、ほっけ(28.0%減)等で水揚量が減少したためである。

■産地水揚量の推移(単月ベース)



■10月、11月の累計産地水揚量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21.10	H21.11	H21累計
水揚量	数量(千トン)	1,603	84	67	76	75	99	103	90	137	197	216	189	1,335
	前年同月比	-1.1%	0.0%	-7.2%	-16.7%	-14.3%	-3.5%	-3.5%	-39.0%	8.7%	-5.0%	-2.5%	-2.5%	-7.5%
	H16年同月比	※-1.7%	-17.1%	-25.5%	-23.8%	-21.6%	-11.1%	-10.7%	-13.4%	18.3%	15.3%	26.0%	4.4%	-1.7%

出典:農林水産省「産地水産物流通統計」

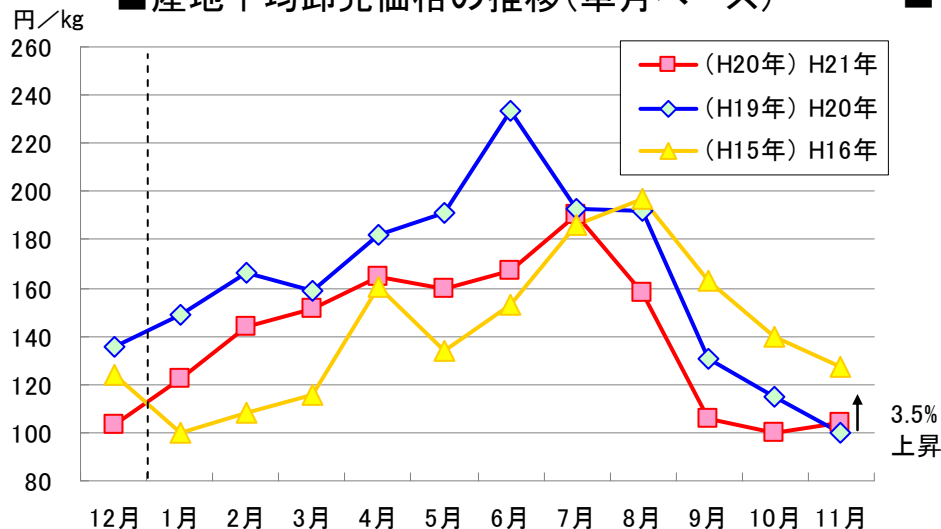
- 注: 1) 本統計は、全国2177漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。  
 2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5639千トン)に対する割合(カバー率)は約30%である。  
 3) 2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。  
 4) 表中の※については、平成15年合計値との比較である。

## 2 産地平均卸売価格の動向

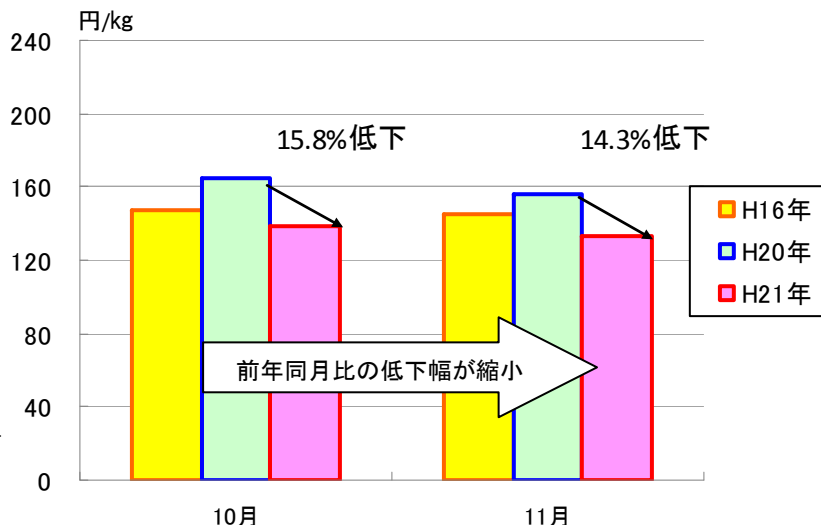
○平成21年11月の産地平均卸売価格は104円/kgで、前年同月と比べ3.5%上昇した。これは、前年同月と比べ、冷凍かつお、さば類、まあじ等で水揚金額が減少したものの、冷凍めばち、生鮮するめいか、冷凍きはだ等で水揚金額が増加したためである。

○平成21年の産地平均卸売価格(累計平均)は11月までで133円/kgで、前年同期と比べ14.3%低下し、前年同期比15.8%低下であった先月と比べ低下幅は縮小した。累月ベースでは、生鮮するめいか、まいわし、生鮮びんなが等で水揚金額が増加したが、冷凍かつお、さば類、生鮮かつお等で水揚金額が減少した。

■産地平均卸売価格の推移(単月ベース)



■10月、11月の産地平均卸売価格(累計平均)の変化



		H20平均	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21.10	H21.11	H21平均
平均産地 卸売価格	価格(円/kg)	150	123	144	151	165	160	167	191	158	106	100	104	133
	前年同月比	4.9%	-17.4%	-13.3%	-4.8%	-9.4%	-16.3%	-28.4%	-1.1%	-17.4%	-19.1%	-13.2%	3.5%	-14.3%
	H16年同月比	※0.0%	22.8%	33.7%	30.7%	2.7%	19.7%	9.3%	2.7%	-19.7%	-34.9%	-28.5%	-18.4%	-7.8%

出典:農林水産省「産地水産物流通統計」

注: 1) 本統計は、全国2177漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。

2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5639千トン)に対する割合(カバー率)は約30%である。

3) 2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。

4) 表中の※については、平成15年合計値との比較である。

# (参考)魚種別の累積水揚量・卸売価格

品目	累積の上場水揚量 (t)			累積の平均卸売価格 (1kg当たり円)		
	平成21年 1月～11月	20年 1月～11月	対前年 同期比	平成21年 1月～11月	20年 1月～11月	対前年 同期比
			%			%
まぐろ (生鮮) 1	2 206	2 694	82	1 527	1 642	93
〃 (冷凍) 2	596	838	71	1 724	2 953	58
びんなが (生鮮) 3	36 568	28 969	126	279	319	87
〃 (冷凍) 4	16 429	9 568	172	279	392	71
めばち (生鮮) 5	6 667	8 247	81	1 075	1 152	93
〃 (冷凍) 6	16 599	18 665	89	821	856	96
きはだ (生鮮) 7	7 312	9 920	74	665	649	102
〃 (冷凍) 8	7 498	8 601	87	553	588	94
かつお (生鮮) 9	43 009	75 716	57	355	303	117
〃 (冷凍) 10	191 668	199 155	96	140	201	70
まいわし 11	35 968	15 416	233	102	113	90
うるめいわし 12	21 241	20 920	102	53	61	87
かたくちいわし 13	79 124	86 403	92	32	55	58
まあじ 14	97 491	92 341	106	153	220	70
むろあじ 15	15 978	18 465	87	111	101	110
さば類 16	338 427	400 558	84	75	87	86
さんま 17	235 993	257 073	92	69	73	95
ほっけ 18	75 934	105 453	72	45	58	78
するめいか (生鮮) 19	66 623	43 948	152	146	160	91
〃 (冷凍、遠洋) 20	755	1 269	59	176	183	96
〃 (冷凍、近海) 21	37 071	37 976	98	218	213	102

資料:農林水産省「産地水産物流通統計」

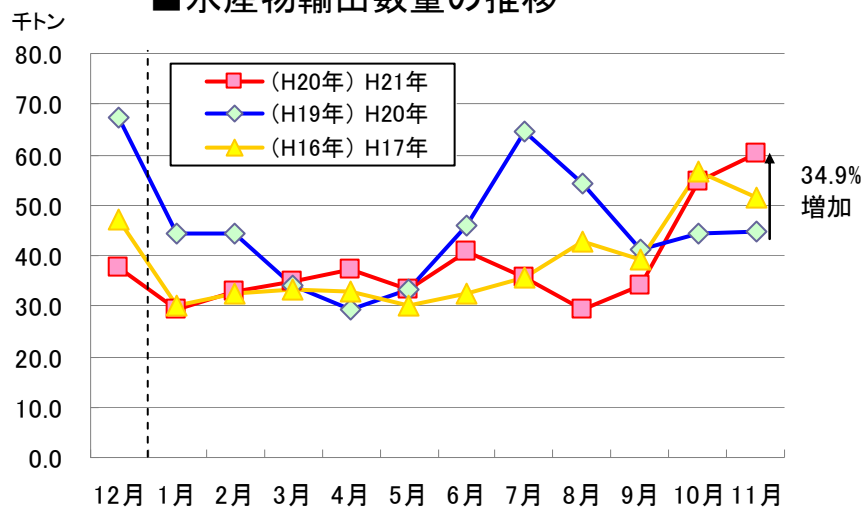
注:1)「まぐろ」とは、くろまぐろ及びみなみまぐろの合計である。

### 3-① 水産物輸出数量の動向

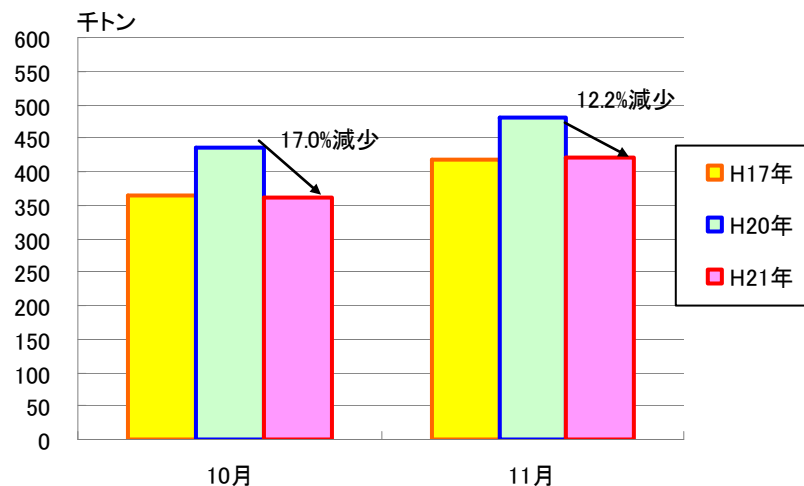
○平成21年11月の水産物輸出量は60.3千トンド、前年同月と比べ34.9%増加した。国内の漁獲量の増加にともない、すけとうだら(225.7%増)、さけ・ます(57.4%増)、かつお類(64.9%増)等で輸出量が増加した。すけとうだら、さけ・ますでは、主に中国向けが増加している。一方、さんま(3.5%減)、さば(4.2%減)、ひらめ・かれい(86.3%減)等では輸出量が減少した。

○平成21年の累計水産物輸出量は11月までで422.0千トンド、前年同期と比べ12.2%減少した。品目別にみると、すけとうだら(62.2%増)、びんながの輸出が好調であったまぐろ類(32.5%増)、冷凍さんま(12.3%増)等で輸出量が増加したものの、円高や世界的な経済不況の影響、国内漁獲量の減少により、さば(40.1%減)、かつお類(64.9%減)、いか(20.2%減)等の品目で輸出量が減少した。

■水産物輸出数量の推移



■10月、11月の累計水産物輸出量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21.10	H21.11	H21累計
輸出	数量(千トン)	518.4	29.2	33.0	34.8	37.2	33.1	41.0	35.5	29.3	34.0	54.6	60.3	422.0
	前年同月比	-15.3%	-34.3%	-25.5%	1.5%	27.7%	-0.7%	-10.7%	-45.0%	-45.9%	-17.9%	22.8%	34.9%	-12.2%
	H17年同月比	※22.2%	-2.3%	1.9%	4.1%	13.3%	10.5%	25.4%	-0.5%	-31.3%	-13.0%	-3.8%	17.4%	1.3%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

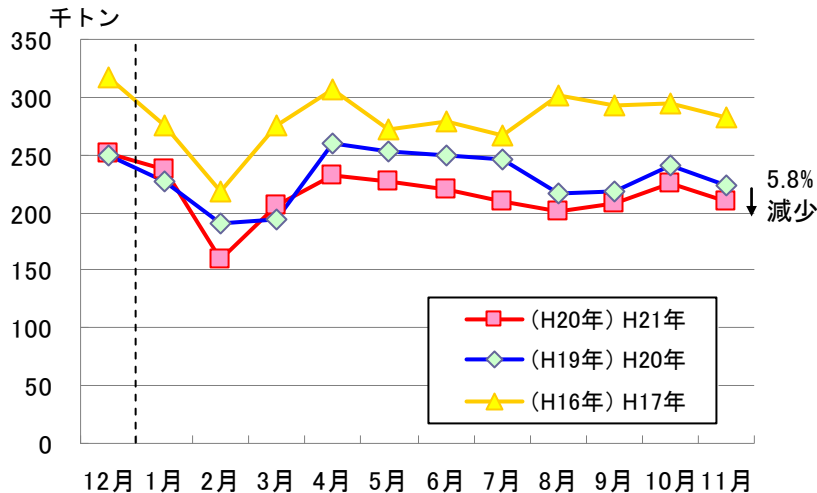
注: 1)表中の※については、平成16年合計値との比較である。  
2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

### 3-② 水産物輸入数量の動向

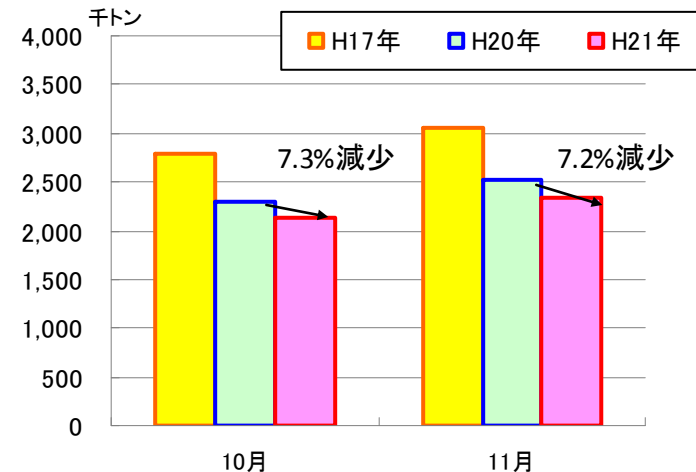
○平成21年11月の水産物輸入量は210千トンド、前年同月と比べ5.8%減少した。品目別では、さけ・ます(24.4%増)、えび(17.4%増)、たこ(86.5%増)等で輸入量が増加した。増加率の高いたこは、モロッコ産の漁獲枠増加にともない輸入量が増加した。一方、魚粉(47.3%減)、まぐろ類(18.4%減)、あさり(41.7%減)、等では輸入量が減少した。あさりについては主要輸入国である韓国、中国での漁獲量の減少による。

○平成21年の累計水産物輸入量は11月までで2,337千トンド、前年同期と比べ7.2%減少した。品目別にみると、円高や国内需要の高まりにより、かつお類(68.0%増)、たこ(26.3%増)、あさり(11.9%増)等で輸入量が増加。一方、たらでは、米国産すけとうだらの減産の影響により22.5%の減少。さけ・ますでは、チリ産銀さけの減産が影響し、4.3%減少した。さばは、中国、ノルウェーからの輸入が減少したため22.7%の減少となった。

■水産物輸入数量の推移



■10月、11月の累計水産物輸入量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21.10	H21.11	H21計
輸入	数量(千トン)	2,768	238	159	206	233	227	219	210	202	207	226	210	2,337
	前年同月比	-4.0%	5.2%	-16.4%	5.9%	-10.3%	-10.1%	-12.0%	-14.5%	-6.8%	-5.4%	-6.3%	-5.8%	-7.2%
	H17年同月比	※-20.6%	-13.3%	-27.1%	-25.5%	-24.3%	-16.5%	-21.4%	-21.2%	-33.0%	-29.3%	-23.5%	-25.6%	-23.8%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注: 1) 表中の※については、平成16年合計値との比較である。

2) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

# (参考)品目別の累計輸出入数量

輸出量(千トン)				輸入量(千トン)			
品目	平成21年 1～11月	平成20年 1～11月	前年 同月比	品目	平成21年 1～11月	平成20年 1～11月	前年 同月比
さば(冷蔵・冷凍)	75.6	126.2	-40.1%	魚粉	266.7	280.1	-4.8%
すけとうだら(生・蔵・凍)	57.0	35.1	62.2%	さけ・ます(生・蔵・凍)	218.0	227.7	-4.3%
さんま(冷凍)	54.4	48.5	12.3%	まぐろ類(生・蔵・凍)	190.7	195.7	-2.6%
さけ・ます(生・蔵・凍)	46.4	40.7	14.0%	えび(活・生・蔵・凍)	183.8	183.5	0.1%
まぐろ類(生・蔵・凍)	30.0	22.6	32.5%	いか(活・生・蔵・凍もんごう含む)	72.1	81.2	-11.2%
いか(生・蔵・凍)	22.9	28.7	-20.2%	たら(生・蔵・凍・すり身)	65.4	84.3	-22.5%
かつお類(生・蔵・凍)	20.2	57.6	-64.9%	かに(活・生・蔵・凍)	58.9	65.5	-10.1%
ほたて貝(生・蔵・凍・塩・乾)	11.2	11.1	0.8%	えび(調製)	57.7	57.7	0.1%
ほや(活・生・蔵)	6.7	6.0	11.0%	たこ(活・生・蔵・凍)	50.4	39.9	26.3%
練り製品(魚肉ソーセージ等)	6.2	7.4	-15.9%	かつお類(生・蔵・凍)	48.1	28.6	68.0%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

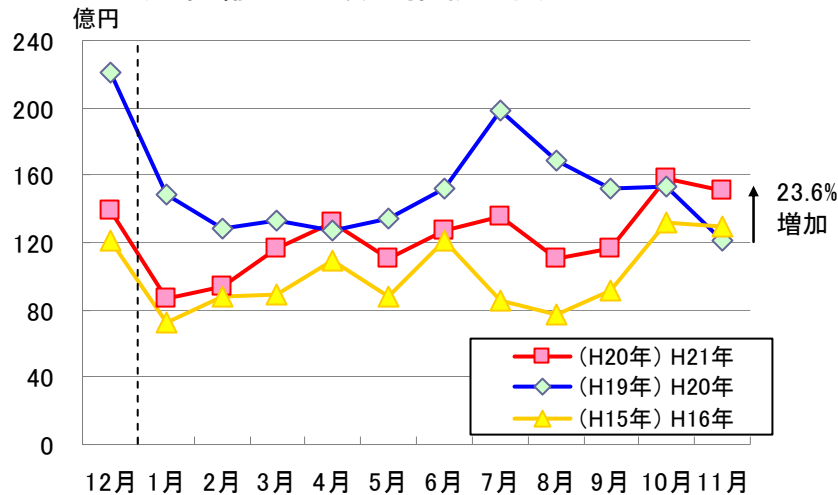
注:1)本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

## 4-① 水産物輸出金額(真珠を除く)の動向

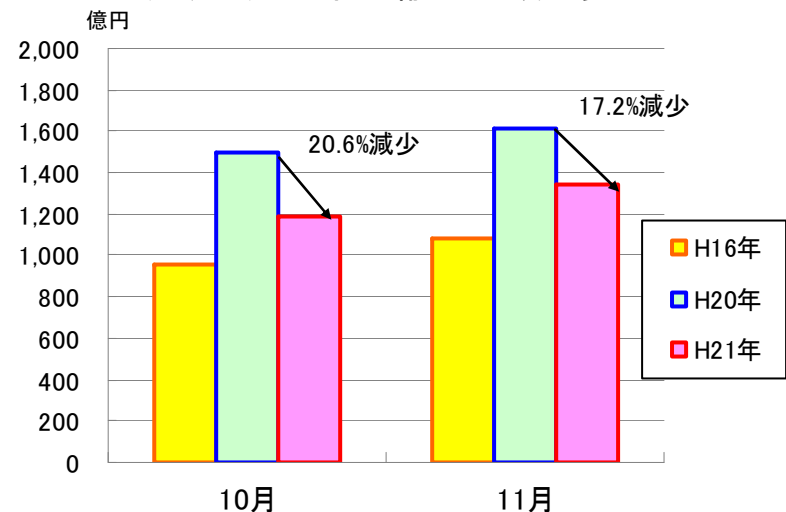
○平成21年11月の水産物輸出金額は150億円で、前年同月と比べ23.6%増加した。これは、さば(23.0%減)、魚油(89.6%減)、冷凍えび(64.0%減)等で輸出金額が減少した以上に、さけ・ます(41.8%増)、すけとうだら(78.3%増)、貝柱調製品(316.6%増)等で輸出金額が増加したためである。

○平成21年の水産物の累計輸出金額(真珠除く)は11月までで1,339億円で、前年同期と比べ17.2%減少した。品目別にみると、単価の高い貝柱調製品(33.0%増)、ぶり(40.1%増)や、豊漁であったさけ・ます(20.4%増)等で輸出金額が増加した。一方、円高や世界的な経済不況、国内漁獲量の減少により、かつお類(79.3%減)、さば(52.2%減)、乾燥なまこ調製品(29.4%減)等で輸出金額が減少した。

■水産物輸出金額の推移(単月ベース)



■10月、11月の累計輸出金額の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21.10	H21.11	H21累計
輸出	金額(億円)	1,772	87	94	116	131	111	128	136	110	116	159	150	1,339
	前年同月比	-13.1%	-41.5%	-26.7%	-12.7%	3.7%	-17.4%	-16.2%	-31.5%	-34.7%	-23.4%	3.4%	23.6%	-17.2%
	H16年同月比	※59.5%	20.2%	7.0%	31.2%	19.8%	27.0%	5.7%	58.9%	43.1%	27.6%	20.0%	16.2%	23.7%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注:1)表中の※については、平成15年合計値との比較である。

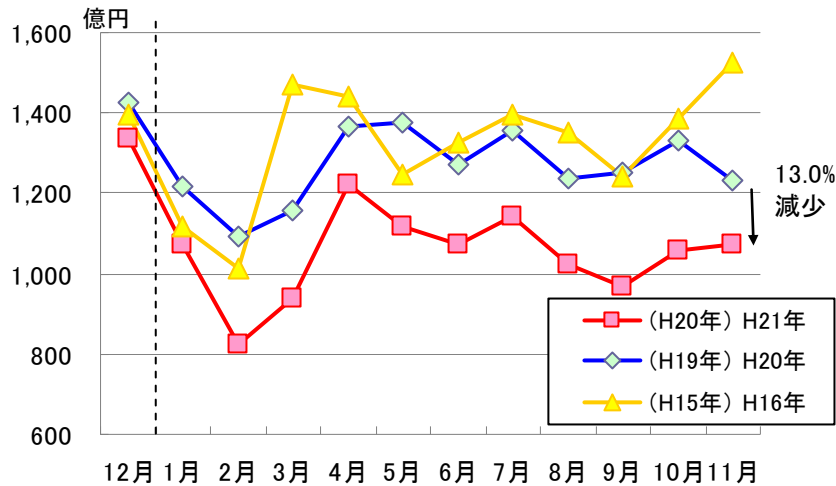
2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

## 4-② 水産物輸入金額(真珠を除く)の動向

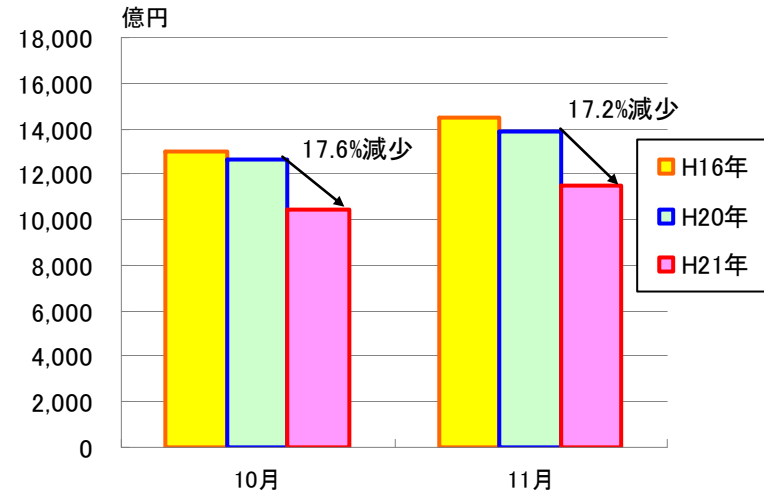
○平成21年11月の水産物輸入金額は1,071億円で、前年同月と比べ13.0%減少した。これは、さけ・ます(16.4%増)、たこ(63.1%増)、えび(4.1%増)等で輸入金額が増加した以上に、かに(31.9%減)、たら(50.3%減)、魚粉(50.4%減)等の輸入金額が減少したためである。

○平成21年の水産物の累計輸入金額(真珠除く)は11月までで11,502億円で、前年同期と比べ17.2%減少した。品目別にみると、さけ・ます(0.8%増)、さけ科のものの卵(20.4%増)、あさり(16.3%増)等で輸入金額が増加した。国内需要の低迷や円高により、まぐろ類(15.7%減)、えび(13.2%減)等で輸入金額が減少。また、米国産の減産により、たらの卵(42.2%減)で輸入金額が減少した。

■水産物輸入金額の推移(単月ベース)



■10月、11月の累計輸入金額の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21.10	H21.11	H21累計
輸入	金額(億円)	15,249	1,074	823	937	1,220	1,115	1,073	1,141	1,023	969	1,056	1,071	11,502
	前年同月比	-3.9%	-11.8%	-24.7%	-19.0%	-10.6%	-18.9%	-15.5%	-15.8%	-17.2%	-22.7%	-20.7%	-13.0%	-17.2%
	H16年同月比	※-0.8%	-3.7%	-18.6%	-36.3%	-15.2%	-10.5%	-19.0%	-18.4%	-24.2%	-22.1%	-23.8%	-29.9%	-20.7%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注:1)表中の※については、平成15年合計値との比較である。

2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

# (参考)品目別の累計輸出入金額

輸出金額(億円)				輸入金額(億円)			
品目	平成21年 1～11月	平成20年 1～11月	前年 同月比	品目	平成21年 1～11月	平成20年 1～11月	前年 同月比
真珠	184.5	300.8	-38.7%	まぐろ類(生・蔵・凍)	1655.9	1964.6	-15.7%
ほたて貝(生・蔵・凍・塩・乾)	127.4	142.4	-10.6%	えび(活・生・蔵・凍)	1560.2	1797.4	-13.2%
さけ・ます(生・蔵・凍)	112.6	93.5	20.4%	さけ・ます(生・蔵・凍)	1206.9	1197.2	0.8%
まぐろ類(生・蔵・凍)	92.7	88.7	4.5%	えび(調製)	462.0	494.5	-6.6%
乾燥なまこ(調製)	84.2	119.3	-29.4%	かに(活・生・蔵・凍)	420.7	603.5	-30.3%
貝柱(調製)	79.1	59.5	33.0%	いか(活・生・蔵・凍もんごう含む)	313.2	367.2	-14.7%
すけとうだら(生・蔵・凍)	72.7	63.7	14.2%	たらの卵(生・蔵・凍)	305.3	528.2	-42.2%
さば(冷蔵・冷凍)	67.8	141.8	-52.2%	生きている魚	266.0	455.7	-41.6%
魚(生きているもの)	58.8	76.8	-23.5%	真珠	257.2	390.9	-34.2%
ぶり(生・蔵・凍)	50.3	35.9	40.1%	たこ(活・生・蔵・凍)	248.7	309.4	-19.6%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

注:1)本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

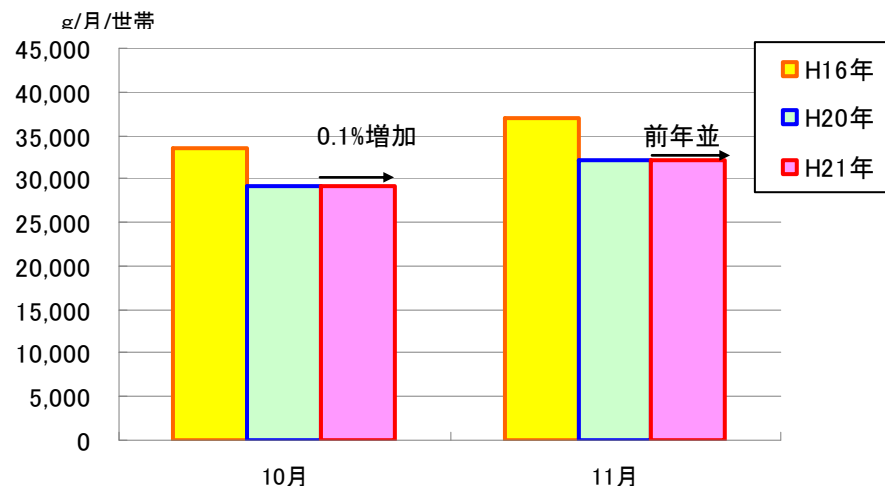
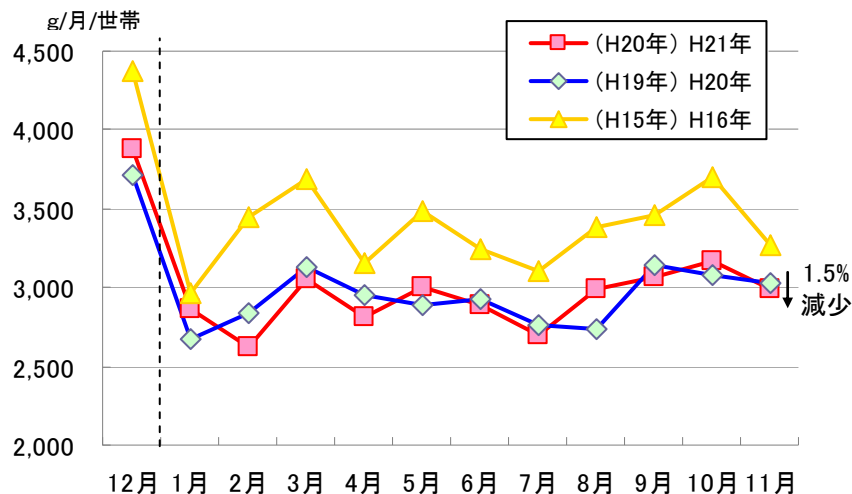
## 5-① 生鮮魚介の家計購入数量の動向

○平成21年11月の生鮮魚介1世帯1月当たりの購入数量は2,985g/月/世帯で、前年同月と比べ1.5%減少した。品目別では、いわし(41.9%増)、ほたて貝(22.2%増)、まぐろ(7.8%増)、たこ(26.7%増)等で購入数量が増加したものの、さんま(16.3%減)、ぶり(9.5%減)、えび(3.2%減)等では購入数量が減少した。

○平成21年の生鮮魚介1世帯1月当たり購入数量(累計)は11月までで32,155g/月/世帯で、前年同期並となった。品目別にみると、さんま(8.4%増)、たこ(21.6%増)、えび(6.0%増)、ほたて貝(10.4%増)等で購入数量が増加した。また、いか(6.2%減)、あじ(4.4%減)、かつお(5.8%減)、あさり(4.3%減)等で購入数量が減少した。

■ 生鮮魚介1世帯1月当たり購入数量の推移累計(単月ベース)

■ 10月、11月の生鮮魚介1世帯1月当たり購入数量(累計)の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21.10	H21.11	H21累計
生鮮魚介 購入数量	数量(g/月/世帯)	36,031	2,868	2,626	3,056	2,818	2,997	2,887	2,701	2,989	3,064	3,164	2,985	32,155
	前年同月比	-5.0%	7.2%	-7.6%	-2.5%	-4.3%	3.8%	-1.4%	-2.2%	9.0%	-2.3%	2.9%	-1.5%	0.0%
	H16同月比	※-14.9%	-3.2%	-23.8%	-17.1%	-10.6%	-14.1%	-11.0%	-13.1%	-11.6%	-11.3%	-14.4%	-8.7%	-12.8%

資料:総務省「家計調査報告」

注: 1) 表中の※については、平成15年合計値との比較である。

2) 本統計は、全国の農林漁家を除く二人以上の8076世帯を対象とするサンプル調査の結果を集計したものである。

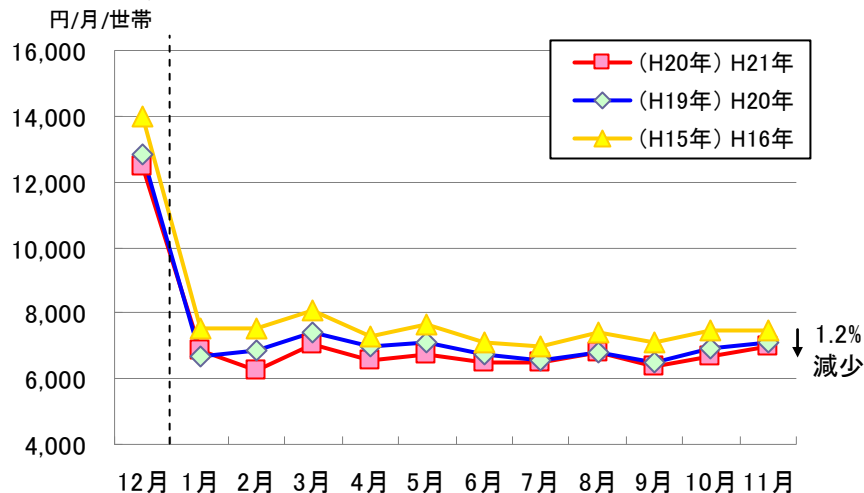
3) 生鮮魚介は、鮮魚16品目、貝類5品目の合計である。

## 5-② 魚介類の家計消費支出の動向

○平成21年11月の魚介類1世帯1月当たりの支出金額は6,995円/月/世帯で、前年同月と比べ1.2%減少した。品目別にみると、生鮮魚介では、かに(19.4%増)、たこ(14.5%増)、いわし(30.3%増)、さば(9.0%増)等で支出金額が増加したものの、さんま(17.6%減)、いか(9.8%減)、ぶり(6.8%減)等で支出金額が減少した。生鮮魚介以外では、魚介の漬物(20.5%増)等で支出金額が増加したものの、揚げかまぼこ(11.2%減)等で支出金額が減少した。

○平成21年の魚介類1世帯1月当たり支出金額(累計)は11月までで73,325円/月/世帯で、前年同期と比べ3.2%減少した。品目別にみると、生鮮魚介では、たこ(8.3%増)、えび(1.5%増)、さんま(1.8%増)等の品目で支出金額が増加したものの、いか(7.9%減)、さしみ盛合わせ(3.3%減)、あじ(10.3%減)、ぶり(5.3%減)で支出金額が減少した。生鮮魚介以外では、ちくわ(3.9%増)、魚介の缶詰(1.9%増)等の品目で支出金額が増加したものの、たらこ(5.9%減)、かまぼこ(6.4%減)等で支出金額が減少した。

■魚介類1世帯1月当たり支出金額の推移(単月ベース)



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21.8	H21.9	H21.10	H21.11	H21累計
魚介類 支出金額	金額(円/月/世帯)	88,211	6,851	6,230	7,039	6,573	6,767	6,515	6,494	6,803	6,377	6,681	6,995	73,325
	前年同月比	-3.5%	2.3%	-9.6%	-5.0%	-6.0%	-4.9%	-3.7%	-0.9%	0.0%	-2.0%	-3.2%	-1.2%	-3.2%
	H16同月比	※-10.4%	-9.2%	-17.5%	-12.7%	-9.7%	-11.8%	-8.1%	-7.1%	-8.4%	-10.0%	-10.5%	-6.2%	-10.2%

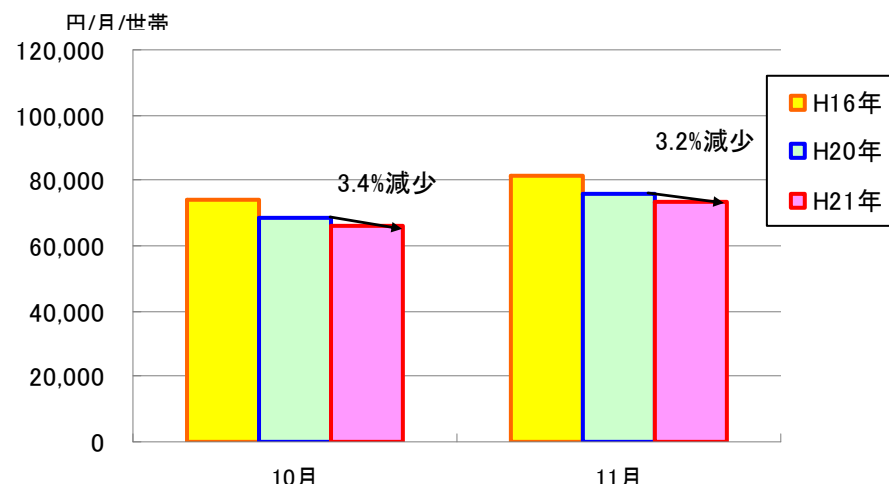
資料:総務省「家計調査報告」

注: 1) 表中の※については、平成15年合計値との比較である。

2) 本統計は、全国の農林漁家を除く二人以上の8076世帯を対象とするサンプル調査の結果を集計したものである。

3) 魚介類は、生鮮魚介21品目、塩干魚介7品目、魚肉練製品4品目および他の魚介加工品5品目の合計である。

■10月、11月の魚介類1世帯1月当たり支出金額(累計)の変化



# (参考)品目別の1世帯当たり購入数量及び支出金額

品目	購入数量				支出金額				品目	支出金額			
	平成21年 11月	対前年 同月比	平成21年 1～11月	対前年 同月比	平成21年 11月	対前年 同月比	平成21年 1～11月	対前年 同月比		平成21年 11月	対前年 同月比	平成21年 1～11月	対前年 同月比
鮮魚	2,675	-2.7%	29,091	-0.4%	3,596	-1.6%	39,665	-3.4%	塩干魚介	1,339	-2.5%	13,365	-6.0%
まぐろ	194	7.8%	2,226	0.9%	432	3.3%	5,083	-1.3%	塩さけ	209	11.2%	1,741	-3.8%
あじ	113	8.7%	1,481	-4.4%	102	-1.9%	1,385	-10.3%	たらこ	273	8.8%	2,504	-5.9%
いわし	61	41.9%	706	8.3%	43	30.3%	559	0.4%	しらす干し	115	-6.5%	1,318	-8.5%
かつお	50	28.2%	984	-5.8%	72	7.5%	1,514	-8.4%	干しあじ	86	1.2%	1,016	-5.2%
かれい	109	0.9%	1,168	-0.5%	124	-6.1%	1,371	-7.2%	干しいわし	30	3.4%	359	-6.5%
さけ	282	3.3%	2,892	2.0%	340	-3.1%	3,792	-1.3%	煮干し	37	-15.9%	351	-15.4%
さば	127	6.7%	1,238	2.9%	109	9.0%	1,037	-1.8%	他の塩干魚介	588	-10.0%	6,075	-5.6%
さんま	205	-16.3%	2,361	8.4%	117	-17.6%	1,420	1.8%	魚肉練製品	768	-5.7%	7,570	-1.1%
たい	53	-3.6%	717	9.3%	90	-10.9%	1,166	-5.0%	揚げかまぼこ	246	-11.2%	2,343	-0.8%
ぶり	201	-9.5%	1,680	-0.7%	302	-6.8%	2,638	-5.3%	ちくわ	164	-4.7%	1,667	3.9%
いか	266	2.3%	2,643	-6.2%	202	-9.8%	2,427	-7.9%	かまぼこ	209	1.0%	2,267	-6.4%
たこ	57	26.7%	737	21.6%	95	14.5%	1,216	8.3%	他の魚肉練製品	149	-6.3%	1,288	1.5%
えび	151	-3.2%	1,794	6.0%	253	-4.9%	3,031	1.5%	他の魚介加工品	833	6.5%	8,697	-0.1%
かに	81	-3.6%	491	-1.4%	234	19.4%	1,116	-0.9%	かつお節・削り節	73	-5.2%	855	-1.0%
他の鮮魚	497	-9.1%	5,303	-4.1%	695	-2.0%	7,124	-6.0%	魚介の漬物	259	20.5%	2,385	1.7%
さしみ盛合わせ	152	2.0%	1,783	-2.4%	386	-4.7%	4,783	-3.3%	魚介のつくだ煮	91	5.8%	909	-5.3%
貝類	312	8.7%	3,060	3.7%	460	1.1%	4,030	-0.6%	魚介の缶詰	186	-3.1%	2,178	1.9%
あさり	65	10.2%	1,022	-4.3%	63	5.0%	983	-4.7%	他の魚介加工品の その他	224	6.2%	2,372	-1.4%
しじみ	25	0.0%	317	7.5%	35	6.1%	421	4.2%					
かき	113	-0.9%	471	2.6%	197	-4.4%	791	0.5%					
ほたて貝	88	22.2%	900	10.4%	138	7.8%	1,391	1.8%					
他の貝	19	35.7%	315	6.1%	26	-10.3%	442	-6.0%					

資料:総務省「家計調査報告」  
(農林漁家世帯を除く2人以上の世帯)

○本資料は、各々の出典に基づいて水産庁漁政部企画課で作成したものであり、本資料中における平成19年及び平成20年合計値は速報値である。

○次回(平成21年12月版)の発行は、平成22年2月中旬の予定であるが、出典の公表時期などにより前後することがある。

お問い合わせ先

水産庁 漁政部 企画課 動向分析班  
担当 長尾

電話:03-3502-8111(内線6578)

直通:03-6744-2344